

非母語話者日本語教師を対象とした超短期研修の成果

— 体験交流活動を通じた意識の変容 —

羽太 園、西野 藍（国際交流基金関西国際センター）

1. 非母語話者日本語教師（NNT）のニーズ

日本語運用

文化理解

日本語教育

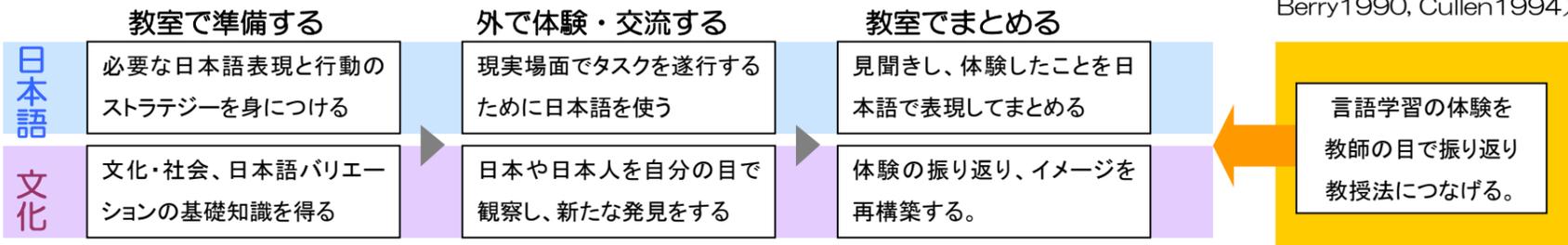
コミュニケーション能力など

日本文化・社会の知識や経験

教育リソース収集・教授法など

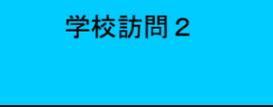
2. 体験交流活動型日本語学習

3. 体験学習（横山 2005, Berry1990, Cullen1994）



超短期NNT研修では、何ができるのか……目標は？ 方法は？ 成果は？

4. 超短期 NNT 研修コースデザイン例（訪日研修、3週間の場合）

	月	火	水	木	金
第1週					
午前			オリエンテーション アイスブレイク	大阪オリエンテーリング	大阪オリエンテーリング まとめ
午後		来日	大阪オリエンテーリング 準備（ガイド・会話練習）		文化体験 （合気道）
第2週					
午前	日本語教育 リソース紹介	日本語教育 リソース紹介	学校訪問1	学校訪問1 まとめ	日本語教育リソース 収集/アイデア交換
午後	学校訪問1準備 （ガイド・会話練習）	学校訪問1準備 （自国紹介）		文化体験 （茶道）	ホームステイ準備 （ガイド・会練習）
第3週					
	ホームステイ まとめ	日本語教育リソース 収集/アイデア交換	学校訪問2	学校訪問2 まとめ	発表会
	文化体験 （和風作り）	学校訪問2準備 （自国紹介）		発表準備	研修のふりかえり 帰国

5 「成果」についての調査結果

対象：5 研修71名

方法：聞き取り調査 / アンケート調査

● 体験交流活動についての認識

学習者として

- **自信**が持てた
- **勇気**が持てた
- 文法が正しくなくても、コミュニケーションは**できる**
- 日本語が**前より簡単だ**と思った
- 実際の場面に飛び込むことで**刺激**を受けた。**もっと勉強したい**と思った。
- 文法や、話し言葉、文化などの知識が増えた

教師として

- 学生は日本語に**いいイメージ**をもって、日本語を勉強することはそんなに難くないと思うだろう
- 日本語への**興味**をより引き出せる
- 学生は自分の**能力を発揮**できる
- 目標をはっきりさせて準備をしたら、学生の勉強は**もっと楽しく**なるだろう

● 教師として変化はあったか？

- 学生が**楽しく**勉強できるようにしたい
- 楽しくするためには**チャレンジ**があり、**ゴール**が見えなければならない
- **もっと生のシチュエーション**を与えたい
- 前はパターンや会話を教えただけだったが、学習項目と**周りの現実をリンク**させたら、学習者は理解しやすいし、自分で直すことができる
- 日本語を**教えることへの興味**が増えた

成果としての
「意識の変容」



- 学習者として……日本語運用への自信、学習意欲
- 教師として……学習者へのまなざしと共感、活動型教授法への理解